

連携室ニュース

JCHO千葉病院地域医療連携室

VOL.3



内視鏡診療センターのご案内

＊オープン予約システム始めました＊

JCHO千葉病院では、『地域の内視鏡室』として「胃内視鏡オープン予約システム」を導入し、地域の医療連携強化を図るようシステムを構築いたしました。これにより、地域の開業医の先生より内視鏡検査が必要と判断された患者様を、簡単な手順でご紹介いただけるようになりました。地域の「内視鏡診断センター」として、先生方、患者様に信頼される医療を提供し、地域医療の質の向上を図ってまいります。

ご予約は、所定の申込用紙に患者様の情報をご記入しFAXでお送りいただくだけで完了します。折り返し予約日時をお伝えし、患者様に来院いただき最新設備と経験豊富な医師による検査を受けていただけます。検査結果は早速紹介元の先生方へ郵送にてお返しいたします。

胃や大腸の早期がんに対応する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）やポリープ切除術（EMR）、総胆管結石治療、止血術（EVLやEIS）、胃瘻造設など、多彩な内視鏡治療も行っております。年間も約5,000件の実績があり、地域の皆様に安心してご利用いただける医療を提供しております。内視鏡検査についての詳細やご質問がございましたら、どうぞお気軽に内視鏡室または担当の村岡までお問い合わせください。

今月号の内容

内視鏡診療センターのご案内

摂食嚥下ワフポイントレッスン

レスパイト入院のとは
入院のご案内

連携室より

摂食嚥下ワンポイント ブローイング訓練

目的：口唇閉鎖機能の改善、鼻咽腔閉鎖機能改善
声が鼻から抜ける場合や、食べ物が鼻から漏れる
場合などに主として用いる訓練です。ペットボト
ルの上のほうにストローが入る程度の穴をあけ、
ストローが5センチほどつかう程度の水を入れま
す。ストローで細く長く吹く、強く吹くを5～1
0回で程度行います。キャップの開閉でも中の圧
が変わるので負荷の調整がしやすいです。



レスパイト入院ご案内

レスパイト入院とは入院治療の必要のない場合でも
も病院で7～14日間お引き受けする入院のことで
す。

ご家庭の事情で、一時的に在宅介護が困難になっ
た場合に、医療保険を利用する入院制度になりま
す。

利用対象

レスパイト入院の利用対象となるのは以下のような方々です：

1. 在宅で介護を受けている高齢者や障害者
 - ・介護を必要とする高齢者や障害者が対象となります。
医療的なケアが必要な方も含まれることがあります。
2. 介護者が一時的に休養を必要としている場合
 - ・介護をしている家族や介護者が、病気や疲労、急な用
用事などで一時的に介護を続けられない場合に利用で
きます。
3. 介護者のリフレッシュや休息が必要な場合
 - ・長期にわたる介護の疲労を癒すため、介護者が旅行や
休息をとる際にも利用できます

予約の取り方：

- ・医師を通して当院地域連携室にご相談ください
- ・レスパイト入院期間は7日～14日間。
- ・入院時に退院予定日をお知らせください。入院期間中は
処方されている薬を使用するので、必ずご持参ください。
- ・その他、通常の入院時と変わりありません。



連携室より

千葉産落花生が出回る季節。落花生はマメ科の植物だと最近知りました。ピーナッツの脂肪は太りにくい植物性脂肪、動脈硬化などの生活習慣病の予防効果のある成分が豊富に含まれているそうです。食べても糖を穏やかに上昇させるので、小原がすいた時に食べるにはちょうど良いだけでなく、二日酔いの原因となるアセトアルデヒドを分解する効果があり、悪酔い防止になります。

1日に20～30粒が妥当な摂取量とのこと、おいしく食べて健康維持に努めたいですね。